


教科名	科目名	履修学年	履修区分	単位数
地理歴史	歴史総合	1年 特別進学コース	必修	2

目 標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のおり育成することを目指す。</p>
教科書	『高等学校 歴史総合』（第一学習社）
副教材	『歴史総合ノート』（第一学習社）
授業形態	<p>講義形式を中心にグループワークやプレゼンテーションなども取り入れた授業を行う。基礎的・基本的な知識を身に着けることはもちろん、ICTを活用して自分たちで調べたり、ノートの整理などを行ったりして知識の定着を図る。</p>
評価規準	<p>〈知識及び技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</li> </ul> <p>〈思考力・判断力・表現力〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</li> </ul> <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</li> </ul>
評価方法	<p>日々の授業や学習への取り組み方やグループワークなどの思考・判断・表現に関する活動への取り組み方、小・中テストでの知識・技能の定着度を考慮して総合的に評価する。</p>
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史総合の学習を通して、日本やそれを取り巻く世界の歴史事象などについての知識・技能を身に着けていくが、この教科の目的はその知識・技能を用いて現代の日本や世界を取り巻く問題について歴史的な視点から問いかけ、探究することである。したがって関係ない遠い過去のことを暗記するだけの科目ではないことを意識して学習してほしい。</li> </ul>

授業計画及び試験計画[1年：歴史総合 特別進学コース]

内 容	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
<b>第1章 近代化と私たち</b>																																				
1. 18世紀の東アジアの政治と国際秩序	■																																			
2. 18世紀の東アジアの経済と社会																																				
3. 世界商業の覇権争いと大西洋三角貿易																																				
4. 農業社会から工業社会へ																																				
5. アメリカ独立革命 6. フランス革命																																				
7. イギリスに挑戦したナポレオン																																				
8. 大西洋を越えて広がった革命																																				
9. イギリスの繁栄 10. 後発国による「上からの近代化」																																				
11. ロシアの近代化と南下政策																																				
12. アメリカ合衆国の膨張																																				
13. オスマン帝国の衰退と西アジア																																				
14. 南アジアと東南アジアの植民地化																																				
15. 東アジアの動揺 16. 東アジアの情勢と改革																																				
17. 明治初期日本の外寇と東アジアの国際秩序																																				
18. 日本の立憲国家への道のり																																				
19. 帝国主義の時代 20. 列強の世界政策																																				
21. 日清戦争と中国分割 22. 日露戦争とアジア																																				
23. 日本の工業化と社会運動の高揚																																				
24. 日本の帝国主義と東アジア																																				
<b>第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち</b>																																				
25. 第一次世界大戦 26. ロシア革命とソ連の成立																																				
27. ヴェルサイユ＝ワシントン体制 28. アジア諸国の独立運動																																				
29. 東アジアの民族運動 30. アメリカの大衆社会																																				
31. 大正デモクラシーと日本社会の変化																																				
32. 世界恐慌 33. ファシズム・軍部の台頭																																				
34. ファシズムの對外侵略と国際秩序の変化																																				
35. 日中戦争の開始と戦時体制下の日本																																				
36. 第二次世界大戦の開始 37. 第二次世界大戦の終結																																				
38. 国際連合と国際経済体制 39. 冷戦の開始とアジアへの波及																																				
40. 敗戦国の戦後改革と日本国憲法の制定 41. 平和条約と日本の独立回復																																				
<b>第3章 グローバル化と私たち</b>																																				
42. アジア諸国の独立と中東戦争																																				
43. アフリカ諸国の独立と第三世界の台頭																																				
44. 核戦争の危機から核軍縮へ 45. 西側諸国の多極化と日本の動向																																				
46. 日本の高度経済成長とアジアとの関係回復																																				
47. 米中の動揺とベトナム戦争																																				
48. 石油危機とイスラーム復興																																				
49. 東南アジア・東アジアの経済成長																																				
50. 冷戦の終結とソ連の解体 51. 地域紛争の頻発とアメリカの動揺																																				
52. グローバル化と地域統合の動き																																				
53. 情報通信技術の発展と環境問題への対応																																				
凡 例																																				
 授業計画																																				